



遊びの大切さ

最近の少子高齢社会の到来と核家族化により、子どもの生活において、三間（さんま）と呼ばれる「空間（遊び場）・時間・仲間」が減少し、子どもの成長に大きな影響を及ぼしています。

特に、異なる年齢集団での多様な遊びが失われ、学校外での社会体験が不足していることが対人関係での社会性やコミュニケーション能力、自己抑制力などの低下を引き起こす原因になっていると言われています。

このため、子どもたちの遊び場の提供と多様な遊びを、地域が一带となり連携して支援することが必要となります。

ここでは、放課後における子どもたちの遊び場（居場所）として活用されている児童会館・ミニ児童会館について紹介します。

児童会館とは

札幌市は、「児童の健全育成」の観点から、放課後などの校外生活において、異なる年齢集団での遊びを通して、健康を増進し情操を豊かにするため、中央区内には、十三カ所の児童会館・ミニ児童会館を設置しています（次ページの「中央区内にある児童会館の一覧表」参照）。

児童会館の利用方法

児童会館は、高校生までの子どもが利用できます。また、ミニ児童会館は、この小学校に通学している子どもが利用できます。

利用方法については、左表をご覧ください。また、活動内容の詳細については、各児童会館へお問い合わせください。



<児童会館の利用方法等>

利用者	【児童会館】 高校生までの子ども 【ミニ児童会館】 当該小学校の子ども
利用方法	学校で授業のある日は、一度帰宅してから
利用料金	無料 (教材費などの実費が必要となる場合もあり)
開館日時	月曜日～土曜日の 午前8時45分から午後6時まで
休館日	日曜日、祝日、振替休日、 年末年始（12月29日～翌年1月3日）
活動内容	自主活動（自由遊び、スポーツ、ゲームなど） クラブ活動（手芸、工作、一輪車、卓球など） 各種集い（親子工作会、もちつき大会など） 野外活動（キャンプ、ハイキングなど） 合同行事（お祭りなど）



児童会館

壁に描いた夢の広場・館のお披露

山鼻かしわ児童会館

地域の方と交流する恒例行事「ハロウィーン」の様子



児童会館での

いろいろな遊び

児童会館で行われている地域との交流行事の遊びの一部を紹介します。このほかにも、いろいろな催し物や楽しい遊びがたくさん行われています。